

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 令和6年 2月27日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス らいく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%			
	2	職員の配置数は適切である	100%			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	20%	80%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%			参加はしているが、不定期なため定期的に行えたら良い
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%			アンケートはとっているが、保護者の意見がどのようなものか、スタッフに伝達してほしい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	40%	60%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	80%	20%		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	20%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	60%	40%		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	40%	60%		口頭だけで終わらせてしまう事がある
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%			

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	70%	30%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	90%	10%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	60%	40%		医師の書に基づき対応できるように、食物アレルギーについて、職員同士で学ぶ機会を設ける。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	90%	10%		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。